

頻発する洪水被害を減らすために

「現場にコミットする！」

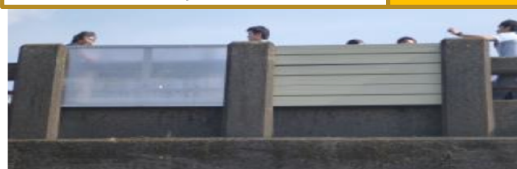
～現場に対応し、現場から教わる「水防工法」の技術開発と普及～

デルタチューブ youtube 検索



畳堤 youtube

検索



国交省 木曽川上流事務所「長良川畳堤」での実証確認

平成29年 11月
スーパー川守

丸井 英一

「積み土のう工」に代わる「三角水のう」の普及促進

地域防災力 $F = m \cdot \alpha$ m : material (どんなもので), method (どんな方法で), member (誰が) α : 水防意識

【第1ステップ】

『機動的な水防工法』で
あることの**実証活動**

“**実感**”が伴う普及活動
水防団(消防団)の現実
的な問題※ 解決

※高齢化と人員不足や防災
意識と地縁の希薄化に伴
う水防活動の熟練不足



【第2ステップ】

(無償) 貸与

『防災・安全交付金』
の「**効果促進事業**」の
適用(活用)促進

「水防資機材の整備」

「水防資機材整備」の
初期投資軽減方策

例えば、
○分割払い(3～5年)
○リース(5年で引渡し)

【第3ステップ】

実現場での『**水防オペ
レーション**』の実施

①「重要水防箇所」と
最優先箇所

②最優先箇所への水
防オペレーション計画
(タイムラインや
リードタイムを反映)

③実現場での水防オペ
レーション演習
(実践的な水防演習)

近代型昼堤(パネル堤)という『モバイルレビー』の普及促進

【第1ステップ】

「親杭横矢板」を原型とする水防活動を伴う『モバイルレビー』が、可搬式の簡易堤防であるという**ロジック整理**

「昼堤」の利点(親水性・景観と生物生息環境保全)をクローズアップした活用の提案

「昼」に代わる**軽量素材**による**機動性・簡便性**



【第2ステップ】

親水性や景観確保が**絶対条件**として求められる「治水対策現場」への普及

先進モデル事例の構築
○東郷池の「養生館」(鳥取県)

○桂川・嵐山地区(淀川河川事務所)



【第3ステップ】

モデル現場での『水防オペレーション』の実施

メディア等を通じた広報

「モバイルレビー」でその周辺の景観の質を高める工夫とデザイン

雨季に設置して『事前防災』

『夏の風物詩(風景、趣きの変化を楽しむ)』



2

コミットしたい自治体 ～選択と集中～

大規模氾濫に関する減災対策協議会

設立状況：全国約130の協議会設立(概ねH.28.7までに)

達成目標：「逃げ遅れゼロ」・**「社会経済被害の最小化」**

取組方針：①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組



(国交省 本省のインターネット公開資料より)

「水害サミット実行委員会」提言 (一部を原文のまま抜粋)

○ 広域・大規模な水防活動の体制整備

災害時には河川管理者と水防管理者が水防活動状況などの情報を共有し、連携しながら迅速かつ的確な災害対応ができるよう、**水防管理者と河川管理者が有している資機材や人員等を広域・大規模な水害時に有効に活用できる体制について検討し、対応を進めるべきである。**

また、水害時に地域住民等多様な主体が水防活動に携わるようにするなど、体制の強化を図るべきである。

(国交省 本省のインターネット公開資料より)

水害サミット発起人：新潟県 三条市長、新潟県 見附市長、福井県 福井市長、兵庫県 豊岡市長

水害サミット参加市町村：北海道2町、岩手県1市、秋田県1市、福島県1市、新潟県8市、石川県1市、福井県3市、長野県3市3町、岐阜県3市、静岡県1市1町、愛知県1市1町、三重県2市2町、京都府3市1町、兵庫県3市1町、奈良県1村、和歌山県3市3町、岡山県1市、山口県3市、徳島県3市、香川県3市、愛媛県3市、高知県1町、福岡県4市2町、熊本県1村、大分県1市、宮崎県3市2町、鹿児島県5市2町2村(計85市町村)

(平成25年2月 現在)